



SiEN

秋号



↑気持ちのいい秋晴れの下、大盛況だった今年のあきまつり。なぎのスーパーボール&ヨーヨーすくいにも大勢の子どもたちが遊びに来てくれましたヨ♪



↑大好評！なぎのおそば



↑大人気のアンパンマンショー

あたりまえに、生きる
 訪問看護ステーションリゆう
 所長 保健師 佐藤かずみ

夏の終わりに毎年放送される24時間の番組。内容の賛否は別として、素朴な疑問があります。障がい者にもフォーカスする番組でありながら、なぜ精神障がい者が出演しないのだろうか？以前、当事者の方にこの疑問を聞いてみたことがあります。すると、「自分が精神障がい者ってテレビで言いたい人は誰もいないんじゃないかな。周りに知られたくないし」という返事でした。

知的、身体、精神の3障害の中でも、特に精神障がい者への偏見はまだ根強いのかと思う出来事でした。また、記憶に新しい相模原の事件は、なんともやりきれない気持ちになるとともに、障がいがあってもなくても、あたりまえに生きる、生きる権利について考えさせられました。

この4月に、障がいがあってもなくても、互いに尊重し共生できる社会づくりにおいて、「障害者差別解消法」が施行されました。しかし、現実はまだまだ改善できることがたくさんあると思います。

障がいを抱えながら生活するのは容易ではない、と言われる。そもそも生活するのに大変さはつきものです。人間付き合ひ、お金のやりくり、食事の準備や家事、急な予定の変更、など。私も大変さを感じながら、なんとか折り合いをつけて生活している一人です。地域で生活する大変さや楽しさを共有しながら、時に知恵を出し合ひ、力になれる活動をしていきたいと思っています。